



各位

平成 22 年 2 月 4 日

会社名 日本電子材料株式会社  
 代表者 代表取締役社長 坂根 英生  
 (コード番号 6855 東証 1 部)  
 問合せ先 取締役 管理部門統括部長 足立 安孝  
 電話 06(6482)2007

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 5 月 14 日に公表した平成 22 年 3 月期(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

## (1) 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,600	680	700	700	66.10
今回修正予想 (B)	8,920	660	690	730	68.93
増減額 (B - A)	680	20	10	30	-
増減率 (%)	7.1	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	10,865	1,078	1,132	1,476	139.40

## (2) 平成 22 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,700	600	600	370	34.94
今回修正予想 (B)	7,840	800	770	570	53.83
増減額 (B - A)	860	200	170	200	-
増減率 (%)	9.9	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	9,500	1,240	1,048	1,396	131.83

## 2. 修正理由

当社グループの主たる事業分野である半導体市場は、各国の景気刺激策等によるデジタル家電の需要増加等に伴い、海外半導体メーカーやメモリー IC を中心に改善傾向となりました。一方国内ロジック IC の本格的な回復は遅れる状況で推移いたしました。

当社においても海外を中心に業績は回復傾向となりましたが、プローブカード市場全体の回復は力強さを欠いており、激しさを増す価格競争と相まって本格的な受注回復には至っておりません。このような状況を踏まえ業績予想を修正いたします。

今後も市場環境は厳しさを増すことが予測されますが、売上確保および原価低減と経費節減による利益向上に努めてまいります。

なお、配当につきましては年間 1 株当たり 10 円(第 2 四半期末 5 円、期末 5 円)の予定に変更ありません。

(注) 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上